

## 10.松山城(愛媛) 松山市丸之内 1

賤ヶ岳(しずがたけ)の合戦で有名な七本槍の1人加藤嘉明が築き始めたお城で、門・櫓・塀を多数備え、狭間や石落とし、高石垣などを巧みに配し攻守の機能に優れた連立式天守を構えた平山城。安政元(1602)年に再建落成した天守は、三重三階地下一階の層塔型天守という様式で、江戸時代最後の完全な城郭建築です。親藩(松平氏)が建築し、「丸に三つ葉葵」(通称:葵の御紋)が付された城郭となっており、わが国最後の完全な城郭建築である天守は、黒船来航の前年に再建されたこととなります。

「登り石垣」と呼ばれる石垣もあります。(同パンフ)



門



隠門



野原櫓と天神櫓



天守



天守内部(丸に三つ葉葵羽織)



石垣



水落としのある石垣



石垣



登り石垣